土質柱状図

報告用紙

調査名 千葉市営住宅宮野木第1団地 集会室改築に伴う地質調査委託

調査年月日 昭和62年4月27日 ～ 62年4月30日

調査地点 千葉市宮野木町969番地

標高 仮BM＋0.06・m

ボーリング孔：No. 1

機種 KR－100

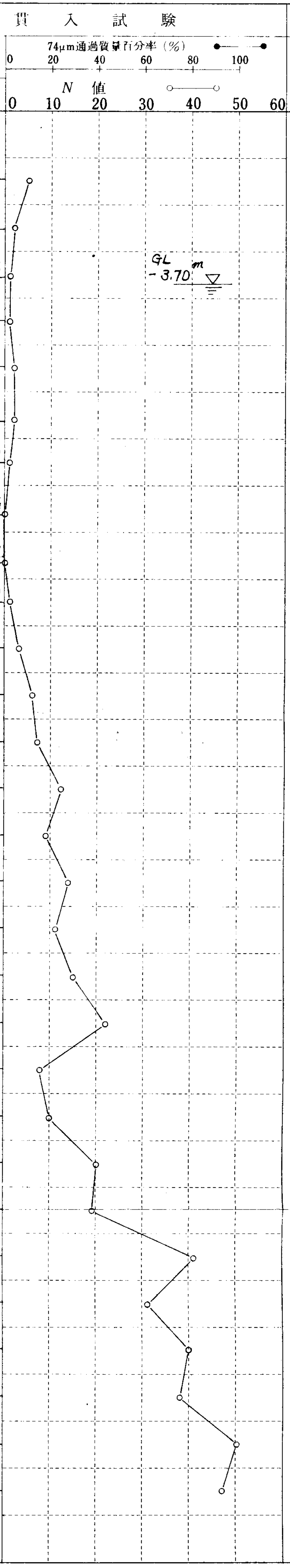
孔内水位（[✓ 自然]、泥） GL－3.70 m

調査責任者

標高 m	深さ m	層厚 m	土質名	色調	記事
－3.69	3.75	3.75	埋土（ローム）	茶褐	植根混入 ローム主体の埋土 2m 暗茶褐色部分混入 3m 軟かい
－4.84	4.90	1.15	粘土	暗茶褐	腐植物混入
－5.69	5.75	0.85	腐植土	暗茶褐	4.90～5.10m 木片挟む 粘土化している
－8.74	8.80	3.05	有機質粘土	黒褐 暗灰 黒褐	6m 木片混入 7m 粘性強い 7.35mより暗灰色となる 8m 粘性強い 8.25mより黒褐色となる
－10.24	10.30	1.50	細砂混り粘土	暗灰	9m 非常に軟かい φ2m/m程度の小礫点在
－11.94	12.00	1.70	細砂	暗青灰	含水多い 11m 含水多い 雲母片混入
－19.14	19.20	7.20	細砂	褐灰 茶褐灰 褐灰	12m 褐灰色となる 雲母片混入 13m 雲母片混入 粒子細かい 14m 茶褐灰色となる 含水多い 15m 褐灰色となる 雲母片混入 16m 雲母片混入 17m やや黄褐色帯びる 18m 雲母片混入 粒子不均一
－21.59	21.65	2.45	細砂混り粘土	黄褐灰 暗灰	19m 下部細砂少量混入 20m 暗灰色となる腐植物混入 細砂全般に少量混入 21m 細砂多く混入する
－29.39	29.45	7.80	細砂	褐灰 黄褐灰 褐灰 黄褐灰	22m 雲母片混入粒子不均一 23m 浮石薄層に挟む 23.20m 固結粘土1～2cm挟む 24m 雲母片混入 25m 黄褐色となる 雲母片混入 26m 褐灰色となる 27m 黄褐灰色となる 粒子細かい 28m 雲母片混入 29m 雲母片混入

標準貫入試験

深さ m	打撃回数／貫入量 回/cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15～1.46	5/31	1	2/11	2
2.15～2.53	2/38	1/20		1/18
3.15～3.54	1/39	0/14		1/25
4.15～4.45	1/30	1/30		
5.15～5.45	2/30	1/20		1/10
6.15～6.62	2/47	1/27		1/20
7.15～7.50	1/35	0/15		1/20
8.15～8.62	0/47	モン	ケン	自沈
9.15～9.65	0/50	モン	ケン	自沈
10.15～10.50	1/35	0/15		1/20
11.15～11.46	3/31	1/17	1/8	1/6
12.15～12.45	6/30	1/9 1/6	1/5	3/10
13.15～13.45	7/30	1/8 1/7	1/5	4/10
14.15～14.45	12/30	3	3	6
15.15～15.45	9/30	1/7 1/4	3/9	4/10
16.15～16.45	14/30	4	4	6
17.15～17.45	11/30	2	4	5
18.15～18.45	15/30	4	5	6
19.15～19.45	22/30	3	7	12
20.15～20.45	8/30	2	3	3
21.15～21.45	10/30	2	3	5
22.15～22.45	20/30	5	6	9
23.15～23.45	19/30	4	8	7
24.15～24.45	41/30	10	14	17
25.15～25.45	31/30	7	10	14
26.15～26.45	40/30	11	14	15
27.15～27.45	38/30	10	12	16
28.15～28.44	50/29	13	17	20/9
29.15～29.45	47/30	9	16	22



採取試料・原位置試験

試料番号	測定番号	深さ m	方法 注1) 注2)

備考

注1）試料採取方法の記号
T：シンウォールサンプラー　F：フォイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー　O：オーガー
D：デニソン型サンプラー

注2）原位置試験方法の記号

ボーリング柱状図

調査名　千葉市営住宅宮野木町第１団地建替事業第一期地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

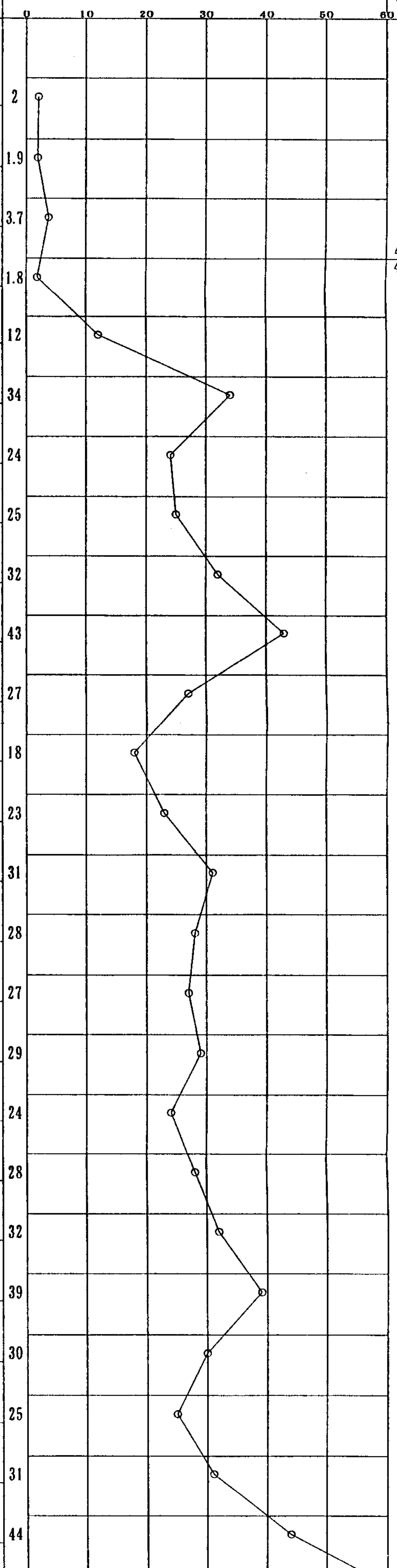
ボーリング名	Ｎｏ．１	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町９６９番地			北緯	３５°３９′１．９″
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課		調査期間	平成１５年　９月　３日～１５年　９月　５日		東経	１４０°６′１．３″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	22.97m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種 試錐機	ＴＳ－１００	ハンマー落下用具　半自動落下方式
総掘進長	40.34m				エンジン	ＮＦＤ－９	ポンプ　Ｖ６－Ｂ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
20.17	2.80	2.80	埋土・ローム	褐～暗褐			上部０．３０m迄草根混入、ローム質土
18.87	1.30	4.10	ローム	暗褐～褐		軟らかい	含水少位、粘性小位 均質で少量の浮石、炭化物混入する ３．００m付近　有機質（黒ボク） ３．５０m付近より褐色を呈す
17.97	0.90	5.00	凝灰質粘土	淡黄灰		非常に軟らかい	含水少～中位、粘性中位 ほぼ均質で少量の浮石、炭化物を混入する
17.37	0.60	5.60	シルト混り細砂	褐	中位		含水少～中位 粒子均質で少量のシルト混入 ５．００m付近シルトの混入量多い
5.52	11.85	17.45	細砂	褐～黄灰	中位～非常に密な		含水少～中位、粒子均一 シルトを少量混入する 含水少～中位、粒子均一 シルトを少量混入する １０．１０m付近黄褐色を呈す １３．００m付近黄灰色を呈す
			細砂	暗黄灰	中位～非常に密な		粒子均一、含水少～中位 １８．００m付近よりより暗黄灰色を呈す １８．１０m付近粘土薄層状に挟在する（２mm） ２５．００m付近より貝殻片を多量に混入する

孔内水位(m)／測定月日：9/5 15.15

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15～1.45	1/17	1/13		2/30	2
2.15～2.47	1/20	1/12		2/32	1.9
3.15～3.47	1	2/15	1/7	4/32	3.7
4.15～4.48	1/18	1/15		2/33	1.8
5.15～5.45	3	4	5	12/30	12
6.15～6.45	10	12	12	34/30	34
7.15～7.45	10	7	7	24/30	24
8.15～8.45	7	9	9	25/30	25
9.15～9.45	9	10	13	32/30	32
10.15～10.45	10	16	17	43/30	43
11.15～11.45	8	9	10	27/30	27
12.15～12.45	5	6	7	18/30	18
13.15～13.45	8	7	8	23/30	23
14.15～14.45	9	10	12	31/30	31
15.15～15.45	7	10	11	28/30	28
16.15～16.45	7	9	11	27/30	27
17.15～17.45	9	10	10	29/30	29
18.15～18.45	6	8	10	24/30	24
19.15～19.45	8	9	11	28/30	28
20.15～20.45	7	11	14	32/30	32
21.15～21.45	11	14	14	39/30	39
22.15～22.45	8	9	13	30/30	30
23.15～23.45	7	7	11	25/30	25
24.15～24.45	9	10	12	31/30	31
25.15～25.45	13	15	16	44/30	44



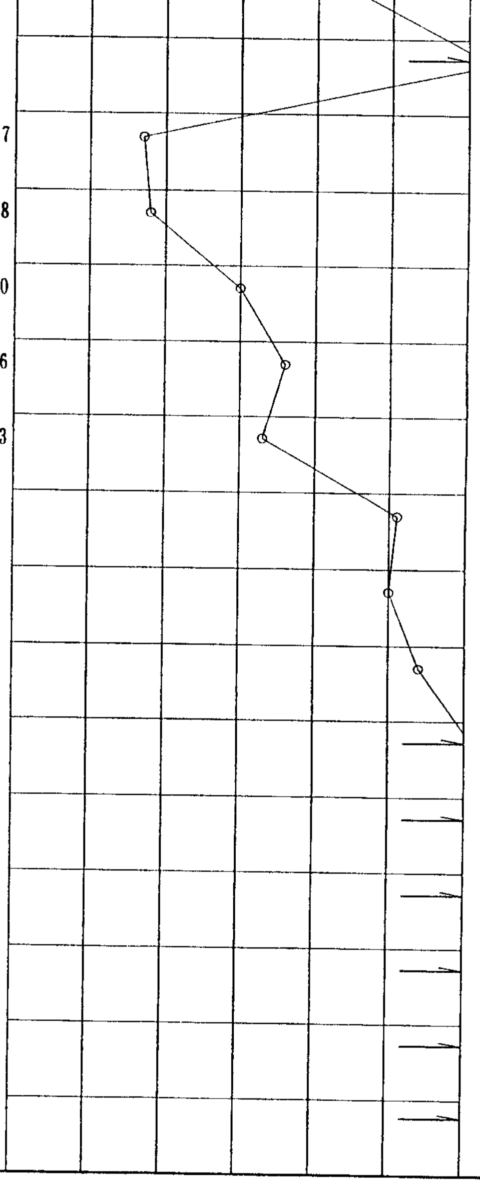
原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.00 4.00	孔内水平載荷試験

掘進月日：9/3

-3.93	9.45	26.90					
-4.63	0.70	27.60	粘土	黄灰		非常に硬い	含水少位、粘性小位 少量の砂を混入し固結状を呈す
-5.38	0.75	28.35	砂質粘土	暗黄灰		非常に硬い	含水少～中位、粘性小～中位 全体に均質で多量の砂を混入する
-12.46	7.08	35.43	細砂	暗黄灰	中位～非常に密な		含水中位、粒子均一 所々シルトを少量混入する ３０．００ｍ付近所々薄層状に粘土が挟在する（２～５mm） ３０．７０ｍ～３１．００ｍ間　全体に少量のシルトを混入する
-17.37	4.91	40.34	細砂	暗黄灰	非常に密な		含水少位、粒子均一 全体に非常に締まっている

25.45 26.15	15	30	15/4	60/24	
26.39 27.15	5	5	7	17/30	17
27.45 28.15	4	5	9	18/30	18
28.45 29.15	7	9	14	30/30	30
29.45 30.15	9	11	16	36/30	36
30.45 31.15	8	10	15	33/30	33
31.45 32.15	13	16	22	51/30	
32.45 33.15	12	16	22	50/30	
33.45 34.15	17	18	19	54/30	
34.45 35.15	17	20	23/8	60/28	
35.43 36.15	17	21	22/8	60/28	
36.43 37.15	19	22	19/7	60/27	
37.42 38.15	20	26	14/5	60/25	
38.40 39.15	18	23	19/6	60/26	
39.41 40.15	24	36/9		60/19	
40.34					



9/4

9/5

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第１団地建替事業第一期地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

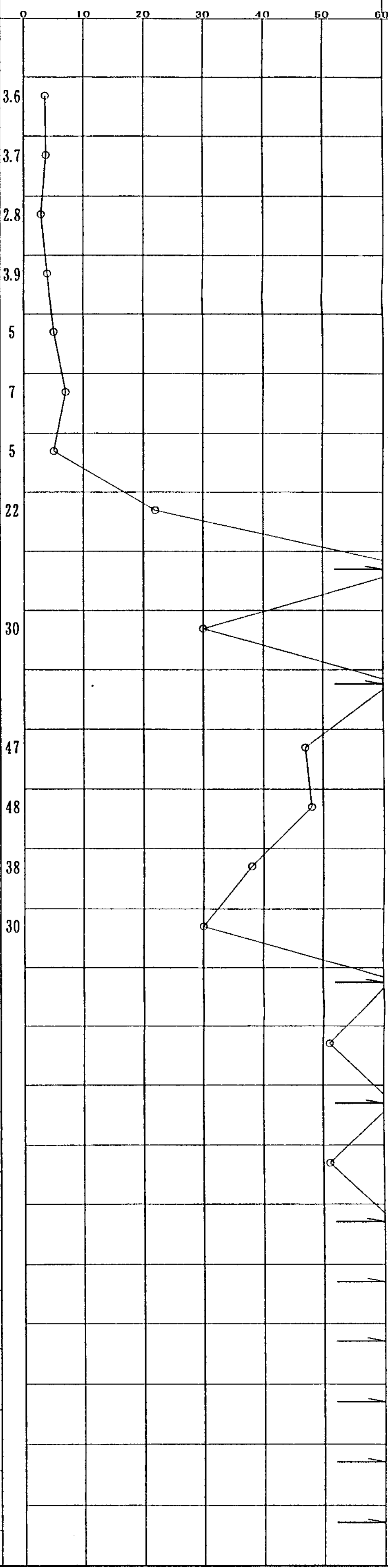
ボーリング名	Ｎｏ．２	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町９６９番地	北緯	３５°３９′１．１″
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課	調査期間	平成１５年　９月　１日～１５年　９月　２日	東経	１４０°６′１６″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	25.56m	角度	180° 上 / 下 0° / 90°	試錐機	ＴＳ－１００
総掘進長	25.42m	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	エンジン	ＮＦＤ－９
地盤勾配	水平0° / 鉛直90°	ハンマー落下用具	半自動落下方式	ポンプ	Ｖ６－Ｂ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
25.36	0.20	0.20	表土	褐			草根混入、ローム質土
22.96	2.40	2.60	ローム	褐		軟らかい	含水少～中位、粘性中位 均質で少量の浮石混入する 炭化物を混入する ２．４０m細砂多量に混入
18.06	4.90	7.50	凝灰質粘土	淡褐灰～褐～淡黄灰		軟らかい～中位	含水少～中位、粘性中～大位 ほぼ均質で少量の浮石、炭化物を混入する ３．２０mより所々酸化を呈し、砂を少量混入 ４．００m付近より褐色を呈す ５．００m付近より淡黄灰色を呈す ６．００m～６．１０m砂の混入量多い
11.11	6.95	14.45	細砂	暗黄褐～黄褐～褐	中位～非常に密な		含水少～中位、粒子均一 １０．００m付近粒子若干粗くなり、小礫僅かに点在する １１．２０m付近赤褐色を呈す １２．００m付近より黄褐色を呈す １３．００m付近より褐色を呈す
0.14	10.97	25.42	細砂	黄灰	密な～非常に密な		粒子均一、含水少～中位 １５．００mより黄灰色を呈す １６．００m付近より僅かに貝殻片点在する

孔内水位(m)／測定月日：9/2 9.90

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15～1.48	1	1	2/13	4/33	3.6
2.15～2.47	1	2/15	1/7	4/32	3.7
3.15～3.47	1/14	1	1/8	3/32	2.8
4.15～4.46	1	2/15	1/6	4/31	3.9
5.15～5.45	2/15	1/5	2	5/30	5
6.15～6.45	2	3	2	7/30	7
7.15～7.45	1	2	2	5/30	5
8.15～8.45	7	7	8	22/30	22
9.15～9.44	13	18	29/9	60/29	
10.15～10.45	9	10	11	30/30	30
11.15～11.33	30	30/8		60/18	
12.15～12.45	11	14	22	47/30	47
13.15～13.45	8	16	24	48/30	48
14.15～14.45	10	14	14	38/30	38
15.15～15.45	10	10	10	30/30	30
16.15～16.34	28	32/9		60/19	
17.15～17.45	12	17	22	51/30	
18.15～18.44	20	20	20/9	60/29	
19.15～19.45	13	17	21	51/30	
20.15～20.43	20	23	17/8	60/28	
21.15～21.44	17	20	23/9	60/29	
22.15～22.41	18	25	17/6	60/26	
23.15～23.43	15	23	22/8	60/28	
24.15～24.43	16	22	22/8	60/28	
25.15～25.42	20	24	16/7	60/27	



原位置試験：深度 (m)　試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
3.00～3.70	2-1	Ⓣ

室内試験

掘進月日：9/1（14.45m）、9/2（25.42m）

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第１団地建替事業第一期地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

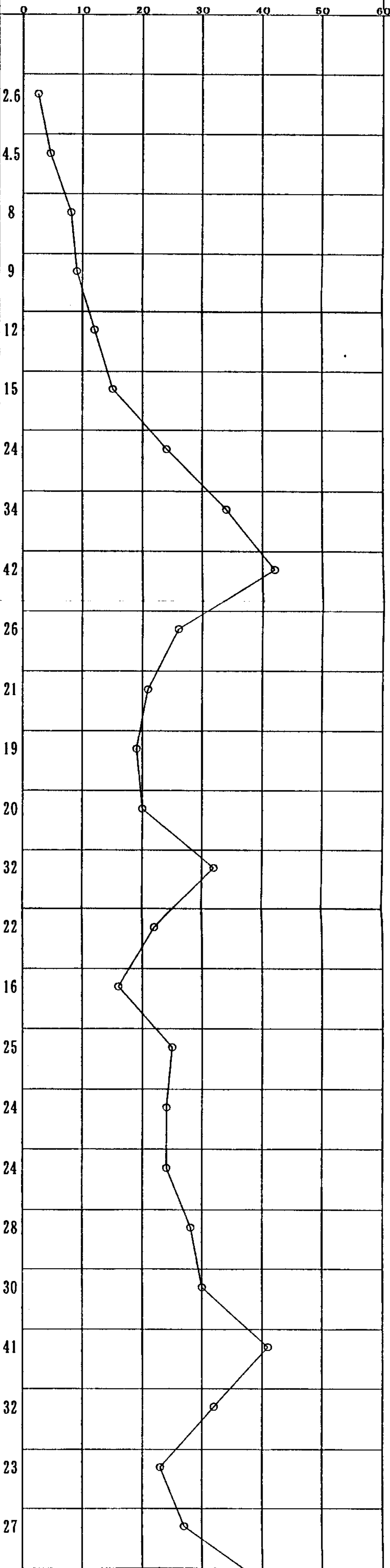
シートNo.

ボーリング名	Ｎｏ．３	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町９６９番地			北　緯	３５°３９′２．６″
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課		調査期間	平成１５年　９月１２日～１５年　９月１６日		東　経	１４０°６′０．８″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	19.43m	角度	180 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	ＴＳ－１００	ハンマー落下用具	半自動落下方式
総掘進長	34.42m								エンジン	ＮＦＤ－９	ポンプ	Ｖ６－Ｂ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
17.08	2.35	2.35	表土・ローム	暗褐			少量の砂を混入するローム質土 １．４０mより粘土質となる
14.63	2.45	4.80	粘土混り細砂	褐～黄褐	緩い		含水少～中位、粒子ほぼ均一 所々少量の粘土を混入する ３．２０m付近粒子粗い ４．０m付近より黄褐となり粒子粗く不均一となる
-4.27	18.90	23.70	細砂	黄灰～褐～暗黄灰	中位～密な		粒子均一、含水少位 部分的に少量のシルトを混入する ６．００m付近より褐色を基調とする ９．００m付近より暗黄灰色を呈す 粒子均一、含水少位 １１．００m付近部分的に褐色を呈す １３．００m付近所々少量のシルトを混入する 粒子均一、含水少位 １６．２０mに薄層状にシルト挟在する（１．０cm） １９．１０m少量のシルトを混入する 理由紙粒子均一、含水少位 ２１．７０m付近より貝殻片を多量に混入する ２３．２０～２３．４０m付近　貝殻片、粘土を少量混入する
-5.07	0.80	24.50	粘土混り細砂	淡黄灰	中位		含水少～中位、粒子ほぼ均一 全体に少量の粘土を混入する ２４．２０m付近粘土の混入量多く、粘土質状を呈す
					中		含水少位、粒子均一 ２５．００m付近所々、少量のシル

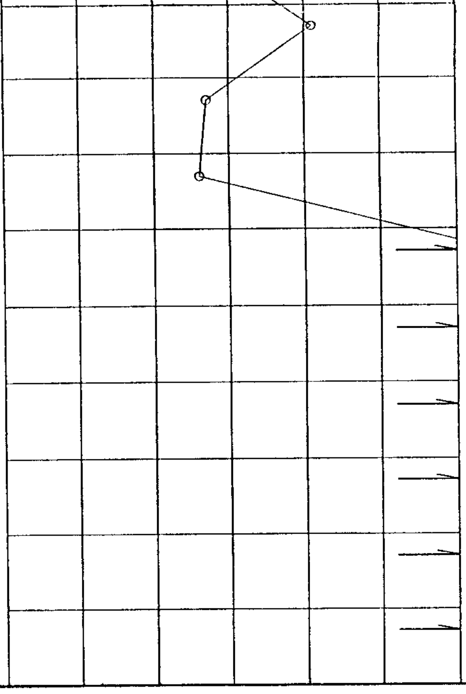
孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	掘進月日
	1.15 1.50	1/13	1/12	1	3/35	2.6	
	2.15 2.48	1	2/13	2	5/33	4.5	
	3.15 3.45	3	2	3	8/30	8	
	4.15 4.45	3	3	3	9/30	9	
	5.15 5.45	3	3	6	12/30	12	
	6.15 6.45	5	4	6	15/30	15	
	7.15 7.45	6	8	10	24/30	24	
	8.15 8.45	8	12	14	34/30	34	
9/16 9.70	9.15 9.45	13	14	15	42/30	42	
	10.15 10.45	6	9	11	26/30	26	
	11.15 11.45	7	7	7	21/30	21	
	12.15 12.45	6	6	7	19/30	19	
	13.15 13.45	5	6	9	20/30	20	
	14.15 14.45	10	11	11	32/30	32	
	15.15 15.45	7	7	8	22/30	22	
	16.15 16.45	4	4	8	16/30	16	
	17.15 17.45	6	8	11	25/30	25	
	18.15 18.45	7	8	9	24/30	24	
	19.15 19.45	6	8	10	24/30	24	9/13
	20.15 20.45	7	10	11	28/30	28	
	21.15 21.45	8	10	12	30/30	30	
	22.15 22.45	10	10	21	41/30	41	
	23.15 23.45	6	11	15	32/30	32	
	24.15 24.45	4	7	12	23/30	23	
	25.15 25.45	8	9	10	27/30	27	
	26.15	10	14	17	41		

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験



26 27 28	-9.27	4.20	28.70	細砂	暗黄灰	位～密な		トを混入する ２６．９０m～２７．２０m間所々少量のシルトを混入する 含水少位、粒子均一 ２８．３０m砂粒子粗く、少量の浮石、粘土を混入する又黄灰色を呈す ２９mより非常密な細砂層となる
29 30 31 32 33 34	-14.99	5.72	34.42	細砂	暗黄灰	非常に密な		含水少位、粒子均一 非常に密な細砂層 ３３．００m付近少量のシルトを混入する

26.15	10	14	17	41/30	41
26.45 27.15	6	7	14	27/30	27
27.45 28.15	8	8	10	26/30	26
28.45 29.15	16	25	19/7	60/27	
29.42 30.15	19	23	18/9	60/29	
30.44 31.15	15	24	21/9	60/29	
31.44 32.15	19	24	17/7	60/27	
32.42 33.15	20	23	17/7	60/27	
33.42 34.15	13	22	25/7	60/27	
34.42					



9/16

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第１団地建替事業第一期地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

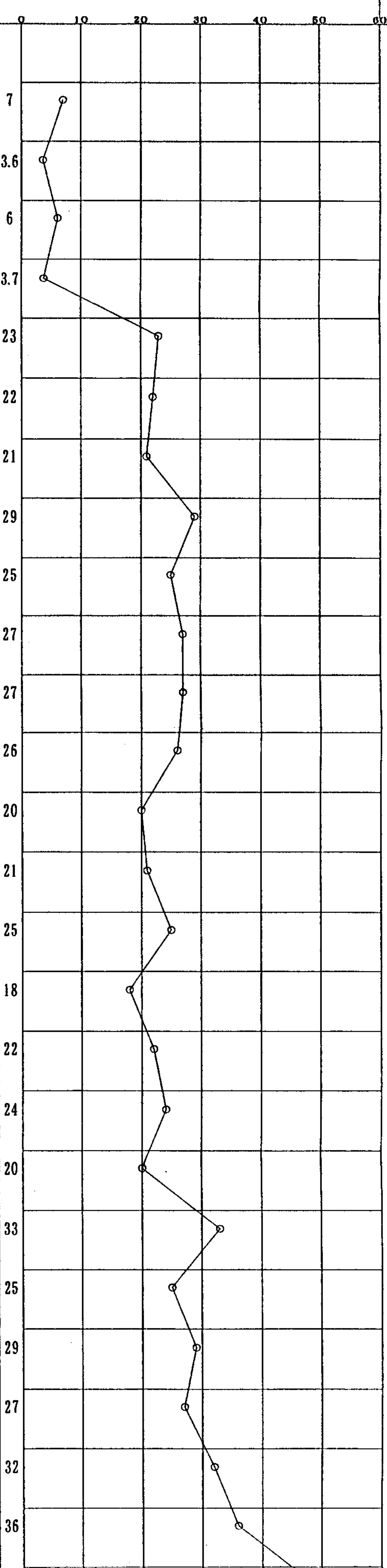
ボーリング名	Ｎｏ．４	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町９６９番地	北　緯	３５°３９′１.５″
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課	調査期間	平成１５年　９月　５日～１５年　９月　９日	東　経	１４０°６′０.６″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	22.66m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	39.38m	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	ＴＳ－１００	ハンマー落下用具	半自動落下方式		
エンジン	ＮＦＤ－９	ポンプ	Ｖ６－Ｂ		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
22.16	0.50	0.50	表土・ローム	褐			迄草根混入、ローム質土
20.16	2.00	2.50	ローム	褐		中位	含水少位、粘性小位 均質で少量の浮石、炭化物混入する ２.００m付近　若干粘土質
18.06	2.10	4.60	凝灰質粘土	褐灰～褐		中位	含水少位、粘性小～中位 ほぼ均質で少量の浮石、炭化物、砂を混入する ４.０m付近褐色呈す
1.21	16.85	21.45	細砂	暗黄褐～褐～暗黄灰	中位		４.６０～５.１０m　シルトを少量混入する 含水少～中位、粒子均一 ９.００m付近より褐色を呈す １０.４０m付近　僅かに小礫を混入 １３.００m付近より暗黄灰を呈す 含水中位、粒子均一
			細砂	暗黄灰	中位～密な		粒子均一、含水少～中位 ２３.００m付近少量のシルトを混入する ２６.００m付近より貝殻片を多量に混入する

孔内水位(m)／測定月日：9/9 11.40

掘進月日：9/8

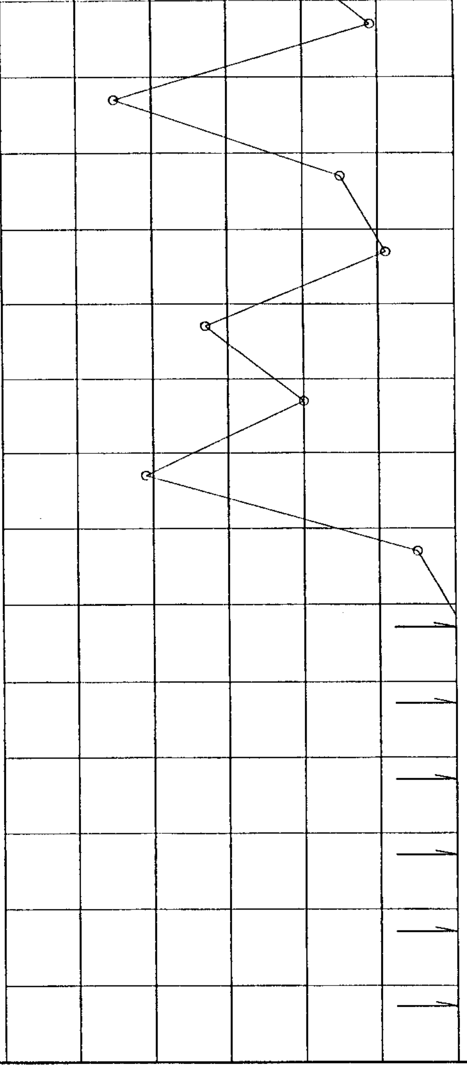
深度 (m)		0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1.45	2	3	2	7/30	7
2.15	2.48	1/13	1	2	4/33	3.6
3.15	3.45	2	2	2	6/30	6
4.15	4.47	1/15	1/7	2	4/32	3.7
5.15	5.45	7	7	9	23/30	23
6.15	6.45	7	8	7	22/30	22
7.15	7.45	7	7	7	21/30	21
8.15	8.45	8	9	12	29/30	29
9.15	9.45	8	8	9	25/30	25
10.15	10.45	8	9	10	27/30	27
11.15	11.45	8	9	10	27/30	27
12.15	12.45	7	9	10	26/30	26
13.15	13.45	6	6	8	20/30	20
14.15	14.45	7	7	7	21/30	21
15.15	15.45	8	8	9	25/30	25
16.15	16.45	5	6	7	18/30	18
17.15	17.45	7	7	8	22/30	22
18.15	18.45	7	8	9	24/30	24
19.15	19.45	5	7	8	20/30	20
20.15	20.45	12	12	9	33/30	33
21.15	21.45	8	9	8	25/30	25
22.15	22.45	7	10	12	29/30	29
23.15	23.45	7	8	12	27/30	27
24.15	24.45	10	11	11	32/30	32
25.15	25.45	11	12	13	36/30	36
26.15		11	17	21	49	



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験

-3.99	5.20	26.65					
-4.94	0.95	27.60	砂混り粘土	淡黄灰		非常に硬い	含水少位、粘性小位、不均質 全体に少量の砂を混入し固結状を呈す
-16.72	11.78	39.38	細砂	暗黄灰	中位～非常に密な		含水中位、粒子均一 所々シルトを少量混入する ３０m、３２m　密度中位となる 含水中位、粒子均一 ３３mより均一で非常に密な砂層となる

26.15	11	11	21	49/30	49
26.45 27.15	5	5	5	15/30	15
27.45 28.15	10	16	19	45/30	45
28.45 29.15	15	19	17	51/30	
29.45 30.15	8	9	10	27/30	27
30.45 31.15	7	13	20	40/30	40
31.45 32.15	4	6	9	19/30	19
32.45 33.15	13	20	22	55/30	
33.45 34.15	18	20	22/9	60/29	
34.44 35.15	20	23	17/7	60/27	
35.42 36.15	17	23	20/8	60/28	
36.43 37.15	19	23	18/6	60/26	
37.41 38.15	16	24	20/7	60/27	
38.42 39.15	17	26	17/3	60/23	
39.38					



ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第１団地建替事業第一期地質調査業務委託

事業・工事名

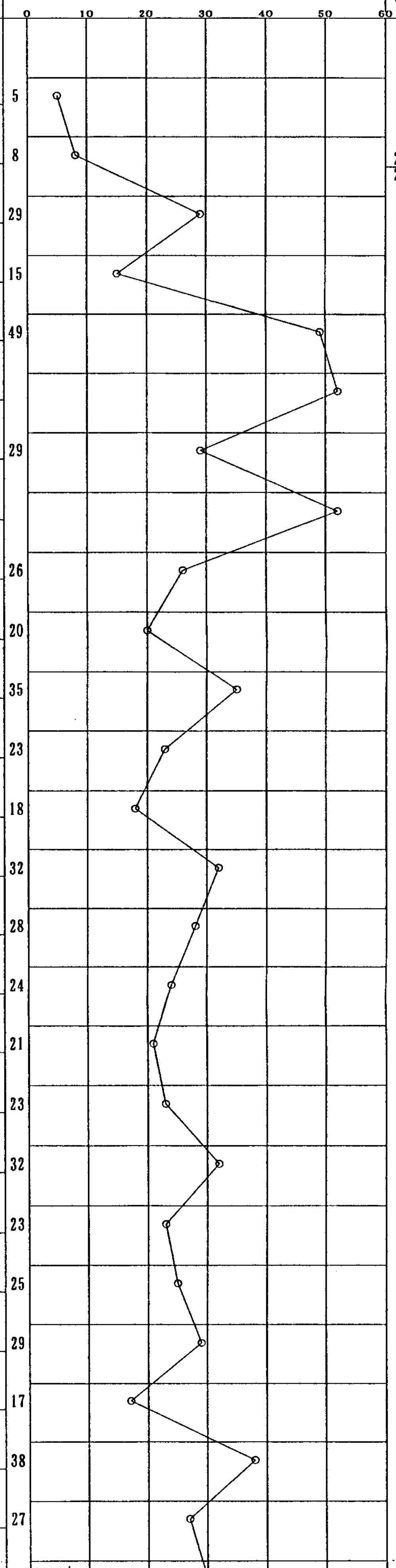
ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	Ｎｏ．５	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町９６９番地			北　緯	３５°３９′３.６″
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課		調査期間	平成１５年　９月１０日～１５年　９月１２日		東　経	１４０°６′０.７″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	19.91m	角度 180° 上 90° 下 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	ＴＳ－１００
						ハンマー落下用具	半自動落下方式
総掘進長	37.38m					エンジン	ＮＦＤ－９
						ポンプ	Ｖ６－Ｂ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
19.01	0.90	0.90	表土・ローム	褐			０.１０m迄砕石 ０.１０m～均質なローム質土
18.01	1.00	1.90	凝灰質粘土	褐		中位	含水少位、粘性中位 ほぼ均質で少量の砂を混入する
16.46	1.55	3.45	細砂	褐～暗黄灰			含水少位、粒子均一 少量のシルト混入 ３.０mよりシルト混入見られなくなり、暗黄灰となる
-4.69	21.15	24.60	細砂	暗黄灰～褐～黄褐～暗黄灰	中位～密な		粒子均一、含水少～中位 ４.００m付近より褐色を基調とするが一定せず ４.４０m付近粒子粗い 粒子均一、含水少～中位 １０.００m付近より黄褐色を呈す １０.４０～１０.４５m少量の粘土混入する １１.００m付近より暗黄灰を呈す 粒子均一、含水少～中位 １３.２０m付近少量のシルトを混入する 粒子均一、含水少～中位 ２２.７０m付近より貝殻片を多量に混入する ２２.４０～２２.６０m粘土を挟在する
-5.59	0.90	25.50	粘土混り細砂	淡褐灰	中位		含水少位、粒子不均一 部分的に多量の粘土を混入する

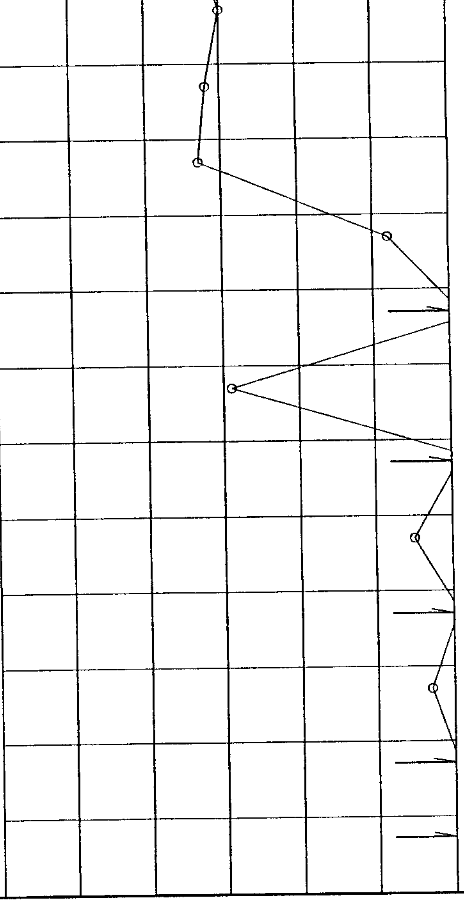
孔内水位 (m)／測定月日	深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
	1.15 1.45	2/13	1/7	2	5/30	5
	2.15 2.45	3	2	3	8/30	8
	3.15 3.45	8	9	12	29/30	29
	4.15 4.45	4	5	6	15/30	15
	5.15 5.45	12	21	16	49/30	49
	6.15 6.45	13	18	21	52/30	
	7.15 7.45	8	9	12	29/30	29
	8.15 8.45	13	16	23	52/30	
	9.15 9.45	8	8	10	26/30	26
	10.15 10.45	7	6	7	20/30	20
9/12 11.30	11.15 11.45	9	12	14	35/30	35
	12.15 12.45	7	8	8	23/30	23
	13.15 13.45	5	6	7	18/30	18
	14.15 14.45	11	11	10	32/30	32
	15.15 15.45	8	10	10	28/30	28
	16.15 16.45	7	8	9	24/30	24
	17.15 17.45	6	7	8	21/30	21
	18.15 18.45	7	8	8	23/30	23
	19.15 19.45	7	9	16	32/30	32
	20.15 20.45	7	8	8	23/30	23
	21.15 21.45	7	8	10	25/30	25
	22.15 22.45	7	9	13	29/30	29
	23.15 23.45	3	5	9	17/30	17
	24.15 24.45	10	12	16	38/30	38
	25.15 25.45	7	10	10	27/30	27
	26.15	6	10	14	30	



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
2.50 2.50	孔内水平載荷試験

掘進月日
9/10
9/11

26					細砂	暗黄灰	中位		粒子均一、含水中位 所々シルトを混入する						30/30	30
27												26.45 27.15	8	9	11	28/30	28
28	-8.59	3.00	28.50									27.45 28.15	7	9	11	27/30	27
29					細砂	暗黄灰	中位～非常に密な		含水中位、粒子均一 所々シルトを少量混入する ２８．２０m付近少量の浮石、粘土を混入する 含水中位、粒子均一 ３３m付近所々黒褐色を呈す ３４．２０m少量のシルトを混入する ３６．００m付近より所々少量のシルトを混入する			28.45 29.15	14	17	21	52/30	
30												29.45 30.15	20	21	19/9	60/29	
31												30.44 31.15	7	10	14	31/30	31
32												31.45 32.15	20	23	17/8	60/28	
33												32.43 33.15	16	18	21	55/30	
34												33.45 34.15	13	21	26/9	60/29	
35												34.44 35.15	12	18	27	57/30	
36												35.45 36.15	20	22	18/7	60/27	
37	-17.47	8.88	37.38									36.42 37.15	16	30	14/3	60/23	
												37.38					



ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業地質調査業務委託

事業・工事名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業

ボーリングNo

シートNo

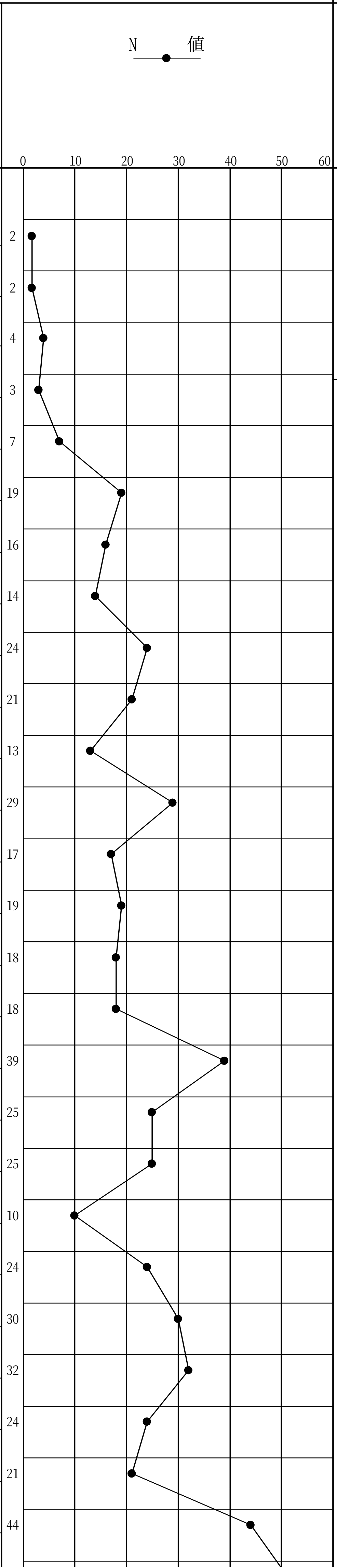
ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町969番地					北緯	35° 39' 10.50"
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課			調査期間	平成 22年 11月 30日 ～ 22年 12月 4日			東経	140° 5' 53.43"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. +22.58m	角度	180° 上 90° 下 0°　0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機　ワイビーエム YBM-05DA2 ハンマー落下用具　半自動型
総掘進長	40.34m								エンジン　ヤンマー NFD9-K ポンプ　カノボーリング V6-B

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
19.53	3.05	3.05	ローム	茶褐		非常に柔らかい	表層0.10mまで砕石敷き 粘性中位 不均質である 1.50m付近まで植物根を混入する 2.00m付近よりやや多孔質となる 2.90m付近より粘土質となる
18.88	0.65	3.70	凝灰質粘土	褐乳灰		柔らかい	粘性非常に強い 不均質である 炭化物を混入する
18.18	0.70	4.40	粘土質細砂	褐乳灰	非常に緩い		含水量中位 粒子不均一である 全体にやや粘性を帯びる
17.78	0.40	4.80	粘土混じり細砂	褐灰			含水量中位 粒子不均一である 粘土を不規則に混入する
15.08	2.70	7.50	細砂	茶褐	緩い～中位の		含水量少ない 粒子不均一である 炭化物を混入する 6.00m付近, 所々で酸化鉄をシーム状に少量混入する
			細砂	暗黄褐	中位の～非常に密な		含水量中位 粒子不均一である 雲母片を混入する 14.00m付近より粒子細かくほぼ均一となる 16.90m付近, 小礫微量点在する 26.70m付近より所々で貝殻片を不規則に混入する

孔内水位(m)／測定月日：12/4　11.35

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/15	1/20		2/35	2
1.50 2.15	1/20	1/15		2/35	2
2.50 3.15	1	1	2	4/30	4
3.45 4.15	1	1	1	3/30	3
4.45 5.15	2	2	3	7/30	7
5.45 6.15	5	6	8	19/30	19
6.45 7.15	5	5	6	16/30	16
7.45 8.15	3	5	6	14/30	14
8.45 9.15	6	8	10	24/30	24
9.45 10.15	6	8	7	21/30	21
10.45 11.15	3	5	5	13/30	13
11.45 12.15	8	9	12	29/30	29
12.45 13.15	4	5	8	17/30	17
13.45 14.15	6	6	7	19/30	19
14.45 15.15	4	6	8	18/30	18
15.45 16.15	4	6	8	18/30	18
16.45 17.15	10	13	16	39/30	39
17.45 18.15	8	8	9	25/30	25
18.45 19.15	8	8	9	25/30	25
19.45 20.15	3	3	4	10/30	10
20.45 21.15	7	8	9	24/30	24
21.45 22.15	8	10	12	30/30	30
22.45 23.15	8	12	12	32/30	32
23.45 24.15	6	8	10	24/30	24
24.45 25.15	5	7	9	21/30	21
25.45 26.15	11	15	18	44/30	44
26.45	15	21	14	50	



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.10	孔内水平載荷試験 E=9478kN/m2

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
3.00 3.70	2-1T	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密

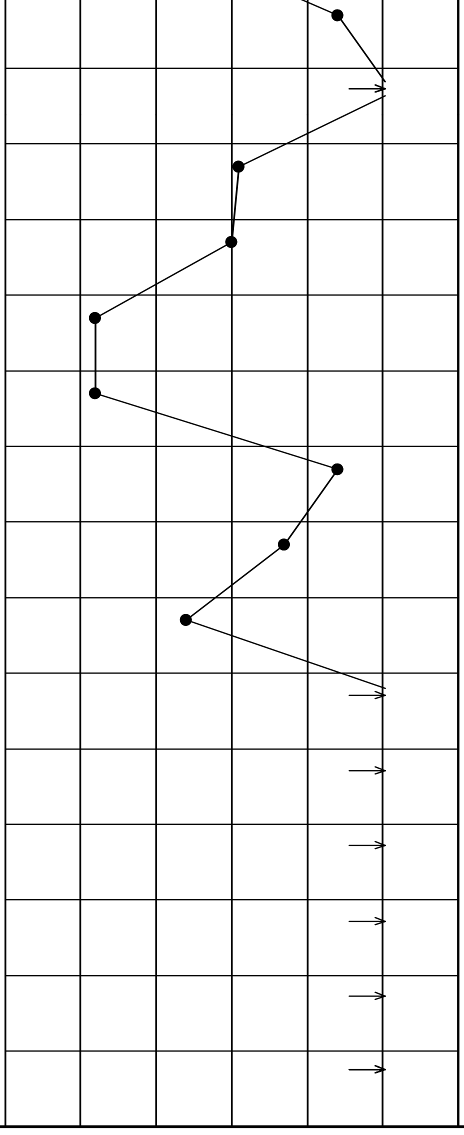
掘進月日

11/30

12/1

-6.12	21.20	28.70					26.70m付近より所々で貝殻片を不規則に混入する
-7.32	1.20	29.90	粘土混じり細砂	暗黄褐	密な		含水量中位 粘土を不規則に混入する 所々で固結している
-7.92	0.60	30.50	シルト	暗灰		硬い	粘性中位 不均質である 貝殻片を混入する 細砂をブロック状に少量混入する
-9.02	1.10	31.60	砂質シルト	暗灰		硬い	粘性弱い 火山灰質である やや褐色も帯びる
-9.82	0.80	32.40	細砂	暗緑褐	密な		含水量中位 粒子不均一である 浮石をシーム状に混入する
-10.62	0.80	33.20	細砂	暗黄褐			含水量やや多い 粒子不均一である
-11.02	0.40	33.60	細砂	暗緑褐	密な		含水量中位 粒子不均一である
-11.92	0.90	34.50	細砂	暗灰	中位の		含水量中位 粒子不均一でる 浮石をシーム状に混入する
-17.76	5.84	40.34	細砂	暗黄褐	非常に密な		含水量中位 全体に粒子細かくほぼ均一である 雲母片を少量混入する 38.00m付近より粒状のシルトを混入する

				30	44
26.45 27.15	15	21	14/4	50/24	63
27.39 28.15	9	10	12	31/30	31
28.45 29.15	7	9	14	30/30	30
29.45 30.15	4	4	4	12/30	12
30.45 31.15	4	4	4	12/30	12
31.45 32.15	9	11	24	44/30	44
32.45 33.15	7	13	17	37/30	37
33.45 34.15	7	7	10	24/30	24
34.45 35.15	11	19	20/9	50/29	52
35.44 36.15	10	16	24/9	50/29	52
36.44 37.15	12	21	17/6	50/26	58
37.41 38.15	14	18	18/7	50/27	56
38.42 39.15	17	19	14/4	50/24	63
39.39 40.15	23	27/9		50/19	79
40.34					



1

12/2

12/3

ボーリング柱状図

調　査　名	千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業地質調査業務委託	ボーリングNo	
事業・工事名	千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業	シートNo	

ボーリング名	No.4	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町969番地					北　緯	35° 39' 8.49"
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課			調査期間	平成 22年 12月 10日 ～ 22年 12月 14日			東　経	140° 5' 55.60"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. +23.34m	角度 180° 上 90° 下 0° 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	ワイビーエム YBM-1WA	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	40.43m					エンジン	ヤンマー NFD12	ポンプ	カノボーリング V6-B

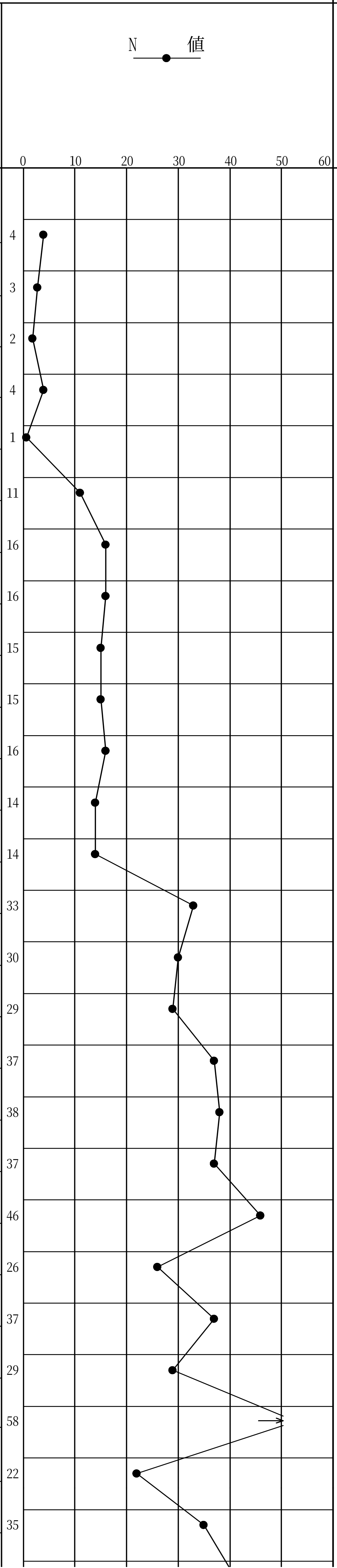
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
22.94	0.40	0.40	表土（ローム）	暗茶			植物根および人工物を混入する
20.24	2.70	3.10	ローム	茶褐		柔らかい	粘性中位 不均質である 全体に多孔質である 2.90m付近より粘性増加する
19.64	0.60	3.70	凝灰質粘土	乳褐灰		非常に柔らかい	粘性非常に強い 不均質である 炭化物点在する
18.74	0.90	4.60	粘土質細砂	暗黄褐	緩い		含水量中位 全体に粘性帯びる 炭化物点在する
17.84	0.90	5.50	凝灰質粘土	乳灰		非常に柔らかい	粘性非常に強い 不均質である 斑点状に褐色を呈する
			細砂	暗黄褐	中位の～非常に密な		含水量少ない 粒子不均一である 所々で帯状に茶褐色を呈する 8.00m付近, シーム状に浮石を混入する 16.00m付近より粒子細かくほぼ均一となる 雲母片を混入する 20.50～20.90m, 小礫点在する 24.00m付近より暗色濃くなる

孔内水位(m)／測定月日: 12/14 12.30 ▽

掘進月日: 12/10

標準貫入試験

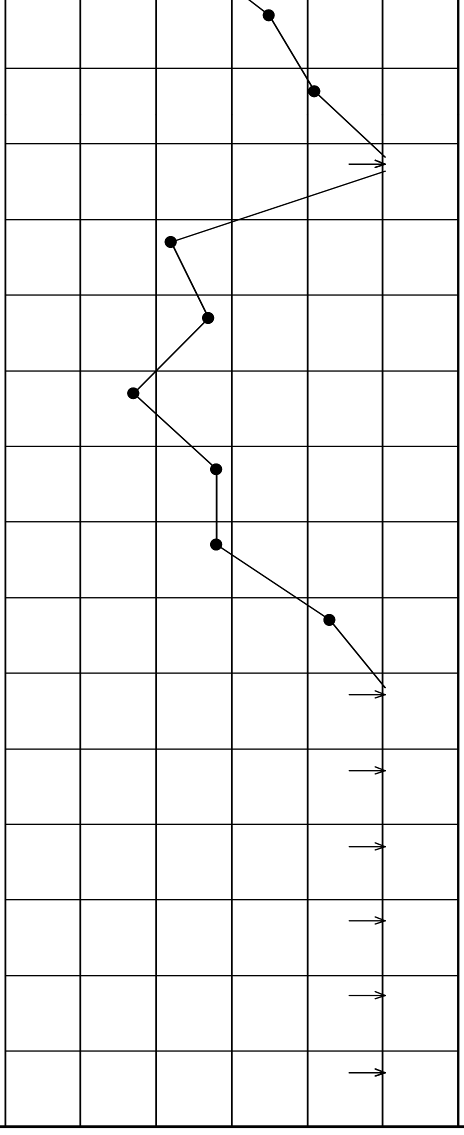
深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4/30	4
1.45 2.15	1/11	1/11	1/11	3/33	3
2.48 3.15	1/17	1/15		2/32	2
3.47 4.15	1	2	1	4/30	4
4.45 5.00	0/20	1/25		1/45	1
5.45 6.15	3	4	4	11/30	11
6.45 7.15	5	4	7	16/30	16
7.45 8.15	5	5	6	16/30	16
8.45 9.15	4	5	6	15/30	15
9.45 10.15	5	6	4	15/30	15
10.45 11.15	5	5	6	16/30	16
11.45 12.15	4	5	5	14/30	14
12.45 13.15	4	5	5	14/30	14
13.45 14.15	10	11	12	33/30	33
14.45 15.15	9	10	11	30/30	30
15.45 16.15	9	10	10	29/30	29
16.45 17.15	8	13	16	37/30	37
17.45 18.15	10	13	15	38/30	38
18.45 19.15	10	12	15	37/30	37
19.45 20.15	13	15	18	46/30	46
20.45 21.15	7	9	10	26/30	26
21.45 22.15	8	12	17	37/30	37
22.45 23.15	9	10	10	29/30	29
23.45 24.15	16	22	12/6	50/26	58
24.41 25.15	6	7	9	22/30	22
25.45 26.15	8	11	16	35/30	35
26.45	10	15	16	41	



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験

-6.26	24.10	29.60				28.00m付近より貝殻片を不規則に混入する
-7.16	0.90	30.50	粘土混じり細砂	暗黄褐	中位の	含水量中位 粒子不均一である 粘土はシーム状を主体に不規則に混入する
-8.16	1.00	31.50	シルト混じり細砂	暗灰	中位の	含水量中位 粒子不均一である 貝殻片点在する
-8.76	0.60	32.10	シルト	暗灰		粘性中位 不均質である
-17.09	8.33	40.43	細砂	暗黄灰	中位の～非常に密な	含水量中位 粒子不均一である 32.30m付近までやや淡灰色を呈する 33.00m付近, 浮石をシーム状に混入する 34.00m付近より粒子細かくほぼ均一となる 雲母片を混入する

26					30	35	
27	26.45 27.15	10	15	16	41/30	41	
28	27.45 28.15	18	20	12/4	50/24	63	
29	28.39 29.15	6	7	9	22/30	22	
30	29.45 30.15	6	8	13	27/30	27	12/11
31	30.45 31.15	5	6	6	17/30	17	
32	31.45 32.15	6	9	13	28/30	28	
33	32.45 33.15	8	8	12	28/30	28	
34	33.45 34.15	11	14	18	43/30	43	
35	34.45 35.15	13	17	20/8	50/28	54	
36	35.43 36.15	12	19	19/8	50/28	54	
37	36.43 37.15	15	17	18/9	50/29	52	
38	37.44 38.15	13	20	17/5	50/25	60	
39	38.40 39.15	17	23	10/2	50/22	68	
40	39.37 40.15	12	16	22/8	50/28	54	12/13
	40.43						



ボーリング柱状図

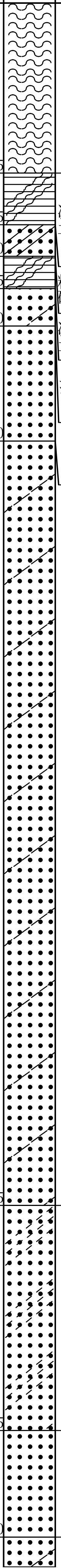
調　査　名	千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業地質調査業務委託
事業・工事名	千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業

ボーリング№											

シート№

ボーリング名	No.5	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町969番地			北　緯	35° 39' 12.55"
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課			調査期間	平成 22年 11月 30日 ～ 22年 12月 2日	東　経	140° 5' 53.68"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T.P. +21.63m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	39.40m	使用機種	試錐機	カノボーリング KR-100H	ハンマー落下用具	半自動型	
			エンジン	ヤンマー NFD10-K	ポンプ	カノボーリング V5-P	

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
18.68	2.95	2.95	ローム	茶褐		柔らかい	表層0.10mまでは人為的である 含水量少ない 粘性やや弱い 全体に比較的均質である 砂分を多く含み深度方向に増加する傾向にある 腐植物を微量混入する
17.78	0.90	3.85	凝灰質粘土	黄褐		柔らかい	粘性中位 不均質である スコリアを混入する 所々で黄灰色や茶褐色を呈する 全体に砂分を多く含み深度方向に増加する傾向にある
17.23	0.55	4.40					
16.68	0.55	4.95	粘土質細砂	茶褐	非常に緩い		含水量少ない 粒子不均一である 凝灰質である
16.03	0.65	5.60	凝灰質粘土	黄灰			粘性強い 比較的均質である 一部で黄褐色を呈する
			シルト混じり細砂	茶褐	緩い		含水量少ない 粒子不均一である 凝灰質である スコリアを混入する
14.03	2.00	7.60	細砂	暗茶褐	中位の		含水量少ない 粒子不均一である 所々で薄層状に黄褐色と黄灰色を呈する
0.78	13.25	20.85	シルト混じり細砂	暗黄灰	中位の～密な		含水量少ない～中位 粒子不均一である 全体にシルト分を少量含む 所々で中砂を不規則に挟む 11.00m付近より黄褐色の細砂を不規則に含む 16.70m付近より粒子比較的均一となる
-3.12	3.90	24.75	シルト質細砂	暗黄灰	中位の		含水量中位 粒子比較的均一である 全体にシルト分を均等に含む
-4.97	1.85	26.60	細砂	暗黄灰	非常に密な		含水量中位 粒子不均一である 中砂を不規則に少量含む
							含水量中位 粒子不均一である

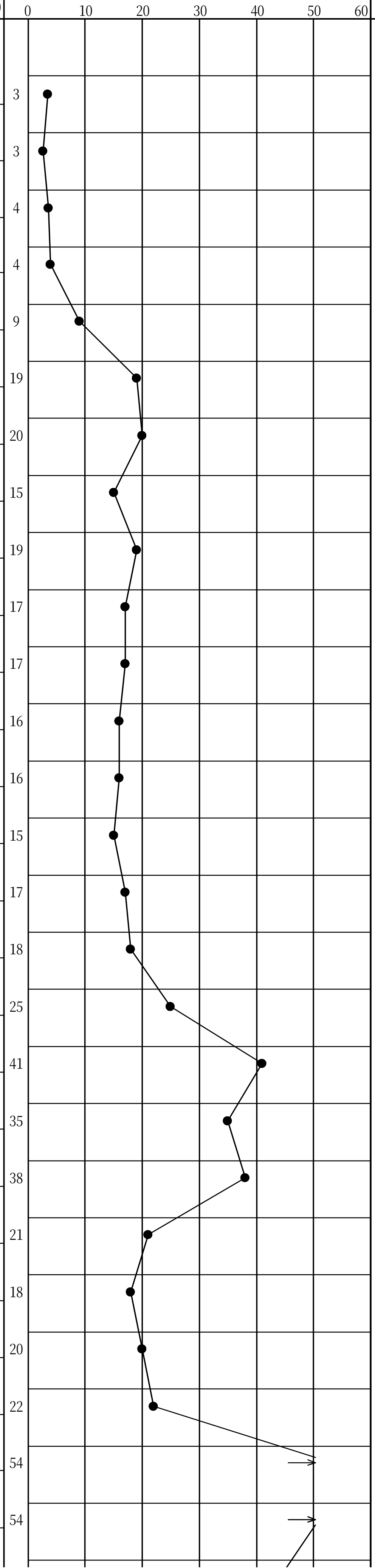


孔内水位(m)／測定月日: 12/2 12.23

掘進月日: 11/30

標準貫入試験

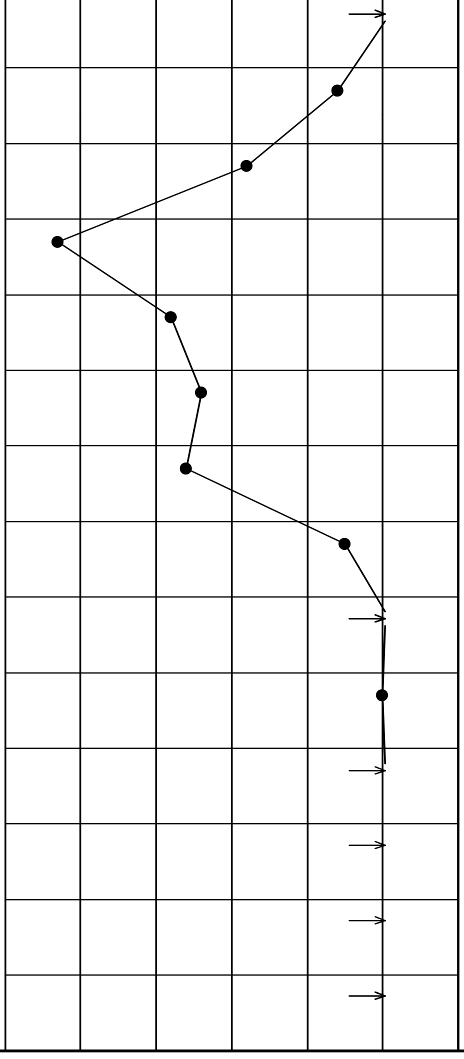
深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量(cm)	N値
1.15	1/11	1/9	2/15	4/35	3
1.50 2.15	1/16	1	1/8	3/34	3
2.49 3.15	1	1	2/13	4/33	4
3.48 4.15	1	2/14	1/6	4/30	4
4.45 5.15	2	3	4	9/30	9
5.45 6.15	6	6	7	19/30	19
6.45 7.15	6	7	7	20/30	20
7.45 8.15	4	5	6	15/30	15
8.45 9.15	5	6	8	19/30	19
9.45 10.15	5	5	7	17/30	17
10.45 11.15	5	6	6	17/30	17
11.45 12.15	5	5	6	16/30	16
12.45 13.15	5	5	6	16/30	16
13.45 14.15	4	5	6	15/30	15
14.45 15.15	5	6	6	17/30	17
15.45 16.15	4	6	8	18/30	18
16.45 17.15	7	8	10	25/30	25
17.45 18.15	11	14	16	41/30	41
18.45 19.15	9	11	15	35/30	35
19.45 20.15	10	13	15	38/30	38
20.45 21.15	6	7	8	21/30	21
21.45 22.15	5	6	7	18/30	18
22.45 23.15	6	6	8	20/30	20
23.45 24.15	6	7	9	22/30	22
24.45 25.15	13	19	18/8	50/28	54
25.43 26.15	15	17	18/8	50/28	54
26.43	10	15	19	44	



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験

	-4.97	1.85	26.60		灰	密な		
27 28	-7.07	2.10	28.70	シルト混じり細砂	暗黄灰	密な		含水量中位 粒子不均一である 全体にシルト分を少量含む 貝殻細片～小片点在する 27.90m付近よりシルトを多く混入し所々でシルト分が優勢となる
29	-7.92	0.85	29.55	粘土質シルト	暗灰		中位の	粘性中位 比較的均質である 貝殻細片点在する
30	-9.12	1.20	30.75	砂混じりシルト	暗灰		非常に硬い	粘性中位 やや不均質である 所々で細砂を不規則に層状に挟む
31	-10.22	1.10	31.85	シルト質細砂	緑灰	中位の		含水量中位 粒子不均一である 砂質シルト（火山灰質）を層状に挟む
32	-11.12	0.90	32.75	シルト質細砂	黄褐	中位の		含水量少ない 粒子やや不均一である 黄灰色のシルト～砂質シルトを層状に挟む
33 34 35 36 37 38 39	-17.77	6.65	39.40	シルト混じり細砂	暗黄灰	密な～非常に密な		含水量中位 粒子比較的均一である 全体にシルトを均等に含む 所々で黒灰色の砂鉄を介在するラミナが発達している

			8	28	54
26.43 27.15	10	15	19	44/30	44
27.45 28.15	7	10	15	32/30	32
28.45 29.15	2	2	3	7/30	7
29.45 30.15	4	6	12	22/30	22
30.45 31.15	7	9	10	26/30	26
31.45 32.15	6	8	10	24/30	24
32.45 33.15	10	15	20	45/30	45
33.45 34.15	14	20	16/7	50/27	56
34.42 35.15	12	16	22	50/30	50
35.45 36.15	12	17	21/9	50/29	52
36.44 37.15	14	19	17/7	50/27	56
37.42 38.15	13	21	16/6	50/26	58
38.41 39.15	14	22	14/5	50/25	60
39.40					



12/1

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業地質調査業務委託

事業・工事名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業

ボーリング№

シート№

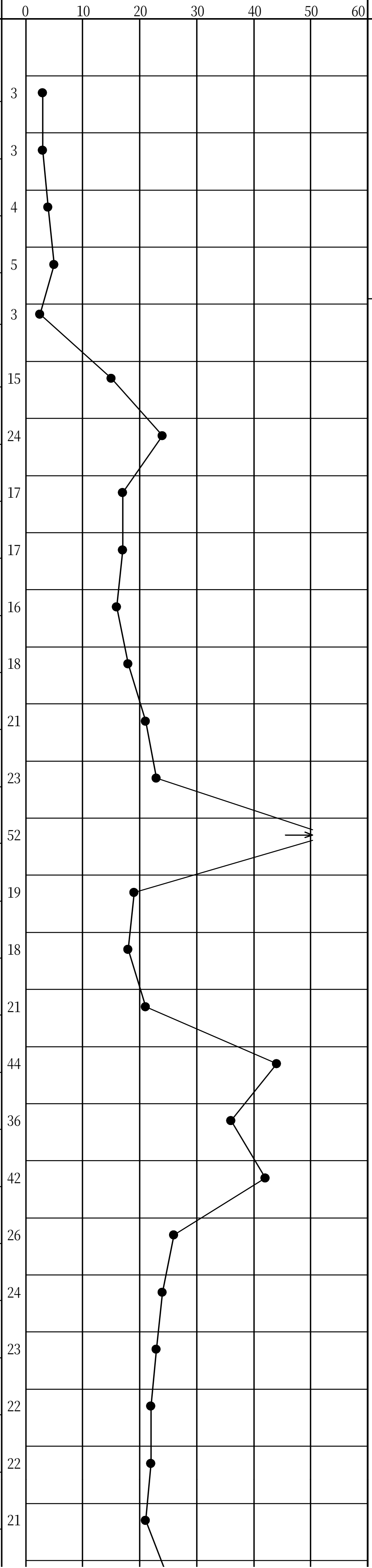
ボーリング名	No.7	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町969番地	北緯	35° 39' 10.79"
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課	調査期間	平成 22年 12月 6日 ～ 22年 12月 9日	東経	140° 5' 55.88"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. +22.81m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	40.37m	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 0°	使用機種	
試錐機	ワイビーエム YBM-1WA	ハンマー落下用具	半自動型		
エンジン	ヤンマー NFD12	ポンプ	カノボーリング V6-B		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
22.61	0.20	0.20	埋土（ローム）	茶褐			人工物を混入する
20.11	2.50	2.70	ローム	黄茶褐		柔らかい	粘性弱い 不均質である 多孔質である
19.01	1.10	3.80	凝灰質粘土	乳褐灰		柔らかい	粘性非常に強い 不均質である
18.21	0.80	4.60	粘土混じり細砂	茶褐	緩い		含水量中位 粒子不均一である 粒状の炭化物が点在する
17.61	0.60	5.20	凝灰質粘土	乳灰			粘性非常に強い ほぼ均質である
16.31	1.30	6.50	粘土混じり細砂	茶褐	緩い～中位の		含水量中位 粒子不均一である 所々で粘土をシーム状に混入する
			細砂	暗黄褐	中位の～非常に密な		含水量中位 粒子不均一である 雲母片を混入する 9.00m付近より上部に比べて粒子細かくほぼ均一となる 11.00m付近よりやや粒子粗く所々で酸化鉄をシーム状に混入する 14.00m付近より粒子細かくほぼ均一となる 22.50m付近, 小礫を微量点在する

孔内水位(m)／測定月日: 12/9 11.55

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15	1/15	1/5	1	3/30	3
1.45 2.15	1/15	1	1/5	3/30	3
2.45 3.15	2	1	1	4/30	4
3.45 4.15	1	2	2	5/30	5
4.45 5.00	0/20	1/5	2	3/35	3
5.35 6.15	4	4	7	15/30	15
6.45 7.15	6	7	11	24/30	24
7.45 8.15	5	5	7	17/30	17
8.45 9.15	5	5	7	17/30	17
9.45 10.15	5	5	6	16/30	16
10.45 11.15	4	6	8	18/30	18
11.45 12.15	6	8	7	21/30	21
12.45 13.15	6	7	10	23/30	23
13.45 14.15	14	18	18/9	50/29	52
14.44 15.15	6	6	7	19/30	19
15.45 16.15	5	6	7	18/30	18
16.45 17.15	6	8	7	21/30	21
17.45 18.15	11	14	19	44/30	44
18.45 19.15	9	13	14	36/30	36
19.45 20.15	10	15	17	42/30	42
20.45 21.15	7	9	10	26/30	26
21.45 22.15	7	8	9	24/30	24
22.45 23.15	7	8	8	23/30	23
23.45 24.15	6	7	9	22/30	22
24.45 25.15	7	7	8	22/30	22
25.45 26.15	7	7	7	21/30	21
26.45	7	9	9	25	



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.90	孔内水平載荷試験 E=9208kN/m2

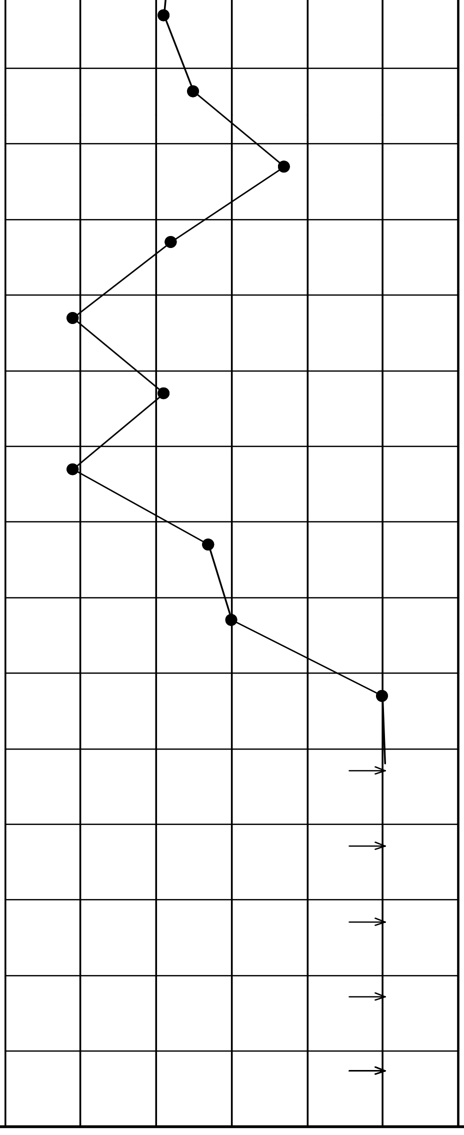
試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
4.50 5.20	7-1T	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密

掘進月日: 12/6

-5.99	22.30	28.80					28.30m付近より貝殻片を不規則に混入する
-6.49	0.50	29.30	粘土混じり細砂	暗黄褐	中位の		含水量やや多い 粒子不均一である 貝殻片を不規則に混入する
-6.99	0.50	29.80	シルト混じり細砂	暗灰	中位の		含水量やや多い 粒子不均一である 貝殻片を微量点在する
-8.29	1.30	31.10	シルト	暗灰		硬い	粘性中位 貝殻片点在する 所々で細砂をレンズ状およびシーム状に混入する
-8.89	0.60	31.70	砂質シルト	暗緑褐		非常に硬い	粘性弱い 火山灰質である 浮石粒を混入する 固結状を呈する
-10.69	1.80	33.50	シルト混じり細砂	暗灰	緩い～中位の		含水量多い 粒子不均一である
-11.99	1.30	34.80	細砂	暗灰	密な		含水量中位 粒子細かくほぼ均一である
-17.56	5.57	40.37	細砂	暗黄灰	非常に密な		含水量中位 粒子細かくほぼ均一である 雲母片を混入する

26					30	21	
27	26.45 27.15	7	9	9	25/30	25	
28	27.45 28.15	9	13	15	37/30	37	
29	28.45 29.15	6	8	8	22/30	22	
30	29.45 30.15	3	3	3	9/30	9	
31	30.45 31.15	5	7	9	21/30	21	
32	31.45 32.15	3	3	3	9/30	9	
33	32.45 33.15	5	10	12	27/30	27	
34	33.45 34.15	9	11	10	30/30	30	
35	34.45 35.15	10	18	22	50/30	50	12/7
36	35.45 36.15	11	17	22/8	50/28	54	
37	36.43 37.15	12	19	19/8	50/28	54	
38	37.43 38.15	11	17	22/9	50/29	52	
39	38.44 39.15	14	18	18/7	50/27	56	
40	39.42 40.15	17	23	10/2	50/22	68	12/8
	40.37						



ボーリング柱状図

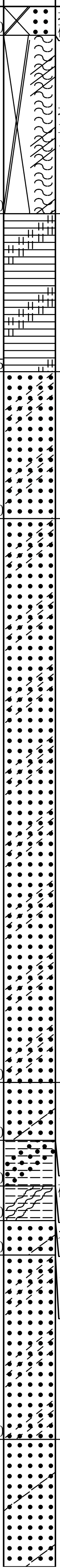
調　査　名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業地質調査業務委託

事業・工事名　千葉市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業

ボーリング№											

シート№

ボーリング名	No.12	調査位置	千葉市稲毛区宮野木町969番地				北　緯	35° 39' 7.80"
発注機関	千葉市都市局建築部住宅整備課			調査期間	平成 22年 12月 21日 ～ 22年 12月 22日		東　経	140° 6' 2.88"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. +15.13m	角度 180° 上 90° 下 0° 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	カノボーリング KR-100H	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	36.44m					エンジン	ヤンマー NFD10-K	ポンプ カノボーリング V5-P

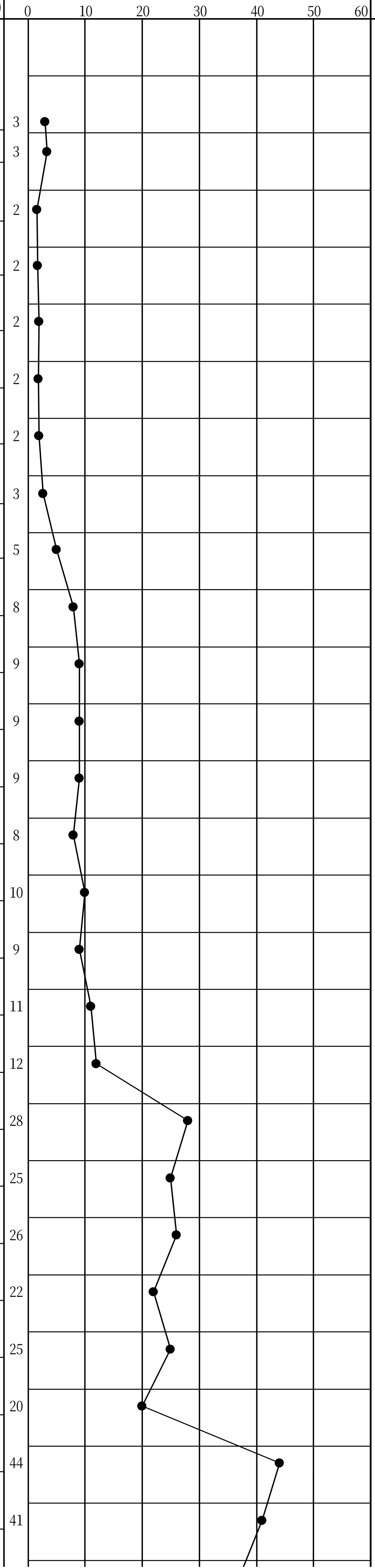


標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	14.63	0.50	0.50	埋土（細砂）	茶灰			細砂主体である
	11.53	3.10	3.60	埋土（粘土質ローム）	暗黄褐			粘土質ローム主体である 全体に比較的均質である
	8.78	2.75	6.35	有機質粘土	暗褐		非常に柔らかい	砂分を微量混入する 細礫点在する 所々で少量の繊維質が残る腐植物を混入する
	6.23	2.55	8.90	シルト質細砂	緑灰	非常に緩い		含水量中位 粒子比較的均一である 全体にシルト分を多く均等に含みやや粘性を帯びる 8.00m付近から淡緑灰色および淡黄灰色の細砂を不規則に挟在する
	-3.57	9.80	18.70	シルト質細砂	黄褐	緩い～中位の		含水量中位 粒子不均一である 全体にシルト分をやや多く含む 所々で暗黄褐色のシルトをレンズ状に挟む 深さ方向にシルト分やや減少傾向にある
	-4.57	1.00	19.70	シルト混じり細砂	暗黄灰	中位の		含水量中位 粒子不均一である 中砂分をやや多く含む 黄褐色のシルトをシーム状に挟む 黒灰色の砂鉄を不規則にやや多く混入する
	-5.37	0.80	20.50					
	-5.97	0.60	21.10	砂質シルト	黄褐		非常に硬い	粘性強い 不均質である 半固結～固結状を呈する
	-6.57	0.60	21.70	火山灰質シルト	灰褐			粘性中位 比較的均質である
				シルト混じり細砂	黄褐	中位の		含水量少ない 粒子不均一である 黄灰色の細砂および黄褐色のシルトを層状に挟む
	-9.77	3.20	24.90	シルト質細砂	暗黄灰	中位の		含水量中位 粒子不均一である 全体にシルト分を均等に含む 24.00m付近から黄褐色の細砂を互層状に挟む
				シ				

孔内水位(m)／測定月日：12/21 3.10

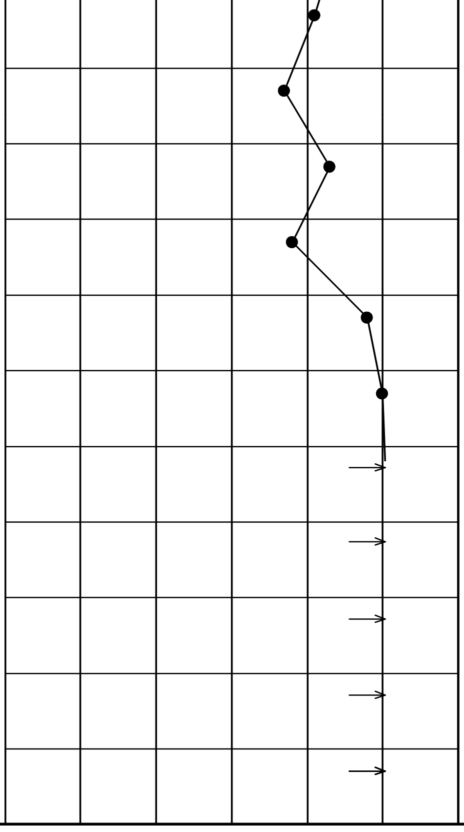
標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.65～1.95	1/11	1	1/9	3/30	3
1.95～2.15	1	1	2/16	4/36	3
2.51～3.15	1/24	1/15		2/39	2
3.54～4.15	1/20	1/14		2/34	2
4.49～5.15	1/16	1/15		2/31	2
5.46～6.15	1/19	1/13		2/32	2
6.47～7.15	1/17	1/13		2/30	2
7.45～8.15	1/15	1/11	1/8	3/34	3
8.49～9.15	2/12	2/12	1/6	5/30	5
9.45～10.15	2	3	3	8/30	8
10.45～11.15	2	3	4	9/30	9
11.45～12.15	2	3	4	9/30	9
12.45～13.15	3	3	3	9/30	9
13.45～14.15	2	2	4	8/30	8
14.45～15.15	3	3	4	10/30	10
15.45～16.15	2	3	4	9/30	9
16.45～17.15	3	4	4	11/30	11
17.45～18.15	3	4	5	12/30	12
18.45～19.15	8	10	10	28/30	28
19.45～20.15	7	8	10	25/30	25
20.45～21.15	4	8	14	26/30	26
21.45～22.15	7	7	8	22/30	22
22.45～23.15	6	9	10	25/30	25
23.45～24.15	6	6	8	20/30	20
24.45～25.15	11	15	18	44/30	44
25.45～26.15	10	14	17	41/30	41
26.45～	10	12	15	37	



原位置試験：深度 (m)｜試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.50～2.40	12-1T	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密	
4.00～4.90	12-2T	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密	
7.15～7.45	12-3P	㊀	物理	
13.15～13.45	12-4P	㊀	物理	
				12/21

													30	41	
27				シルト混じり細砂	黄灰	密な	含水量中位 粒子比較的均一である 全体にシルトを少量含む 所々で黒灰色の砂鉄を介在するラミナが発達する	26.45 27.15	10	12	15	37/30	37		
28								27.45 28.15	12	15	16	43/30	43		
29								28.45 29.15	9	13	16	38/30	38		
30								29.45 30.15	12	16	20	48/30	48		
31	-16.62	6.85	31.75					30.45 31.15	11	17	22	50/30	50		
32				シルト混じり細砂	黄灰	非常に密な	含水量少ない 粒子不均一である 全体にシルト分を含む 所々で淡黄灰色のシルトを不規則に含む	31.45 32.15	12	20	18/6	50/26	58		
33	-18.67	2.05	33.80					32.41 33.15	15	27	8/3	50/23	65		
34				細砂	暗黄灰	非常に密な	含水量中位～やや多い 粒子不均一である 全体に中砂分を多く含む 黒灰色の砂鉄を不規則に多く含む	33.38 34.15	16	20	14/6	50/26	58		
35								34.41 35.15	13	20	17/8	50/28	54		
36	-21.31	2.64	36.44					35.43 36.15	12	18	20/9	50/29	52		12/22
								36.44